

ISO14001 改正国際シンポジウム 事業戦略と環境経営の 一体化を目指して

開催日時：2015年 **2月9日**(月) **13:30 ~ 17:30** (開場 12:30)

会場：**経団連ホール**(東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 2階)

参加料：8,000円(税込) 使用言語：日本語・英語(同時通訳付)

世界経済の発展がめざましい近年において、気候変動の顕在化や汚染の増大、自然資源への需要増、またこれらの諸問題に伴う社会的責任及び環境保護への要求の高まりなど、事業活動における環境問題の重要性はますます高まっています。こうした中で、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO 14001 は、組織の自主的な環境行動の推進ツールとして国内外で広く普及してきました。

現在、ISO 14001 は 2015 年夏の改正発行に向けて検討の最終段階にあります。今改正では、事業戦略と一体化した環境経営の実現に向けて、より積極的な経営層の関与や事業リスクの検討、サプライチェーン全体での環境配慮といった観点が盛り込まれる見込みです。

本シンポジウムでは、改正に携わる国内外の専門家を招き、改正内容の最新状況と各国の取組み事例について紹介いただくほか、国内産業界を代表する企業や認証機関等によるパネル討議を通じて、今改正を踏まえた今後の環境経営のあり方について、様々な観点から考察・提言いただきます。

プログラム

基調講演	ISO 14001 改正の内容と意図～事業と一体化した戦略的環境経営 スーザン・ブリッグス氏 ISO/TC207/SC1/WG5 主査及び米国代表委員 元 TEXTRON Systems 環境・労働安全衛生ディレクター
	我が国における ISO 14001 改正の影響～環境経営への示唆 奥野麻衣子氏 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株) 副主任研究員 ISO/TC207/SC1 日本代表委員
海外事例	各国の環境経営の実践例と ISO 14001 改正の見方 ドイツ代表委員：ベルンハルト・シュワガー氏 ボッシュ (Bosch) サステナビリティ本部ディレクター マレーシア代表委員：アマルジット・カウール氏 環境コンサルタント ブラジル代表委員：アンドレッサ・エルナンデス氏 シーメンス (Siemens) 環境・労働安全衛生マネージャー
パネル討論	環境経営の革新に向けて～ ISO 14001 改正への期待と課題 吉田敬史氏 ISO/TC207/SC1 対応国内委員会委員長及び日本代表委員 (株)グリーンフューチャーズ社長 川口 努氏 富士通(株) 環境本部グリーンマネジメント統括部シニアエキスパート 高橋壮模氏 コニカミノルタ(株) 社会環境統括部環境推進部長 柳田康一氏 花王(株) 環境・安全推進本部部長 武中和昭氏 日本マネジメントシステム認証機関協議会代表幹事 (一社)日本能率協会理事

*都合によりプログラム・説明内容・講演者を変更させていただく場合がありますので予めご了承ください。
*ISO/TC207/SC1/WG5 は、ISO14001 の改正を担当している作業グループです。



スーザン・ブリッグス
ISO/TC207/SC1/WG5 主査
元 TEXTRON Systems
環境・労働安全衛生ディレクター



奥野 麻衣子
三菱 UFJ リサーチ&コンサル
ティング(株) 環境・エネルギー部
副主任研究員



ベルンハルト・シュワガー
ボッシュ サステナビリティ本部
ディレクター



アマルジット・カウール
環境コンサルタント



アンドレッサ・エルナンデス
シーメンス 環境・労働安全
衛生マネージャー



吉田 敬史
ISO/TC207/SC1 国内委員会
委員長
(株)グリーンフューチャーズ社長

■主催：(一財)日本規格協会 ISO/TC207/SC1/WG5 東京会合実行委員会

■共催：三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株)

■協賛：(株)日刊工業新聞社、日本マネジメントシステム認証機関協議会、
(公財)日本適合性認定協会、審査員研修機関連絡協議会、(一社)産業環境管理協会

■後援：経済産業省、環境省、(一社)日本経済団体連合会